

効率性向上に向けた オリンパスの変革をリードする



Message from the CAO

取締役 執行役
チーフアドミニストレイティブオフィサー
(最高管理責任者)
シュテファン・カウフマン

幅広くコーポレート業務のキャリアを積み、4月よりCAOに就任

私は、2003年に欧州の人事部ゼネラルマネージャーとしてオリンパスに入社しました。それまでも、大手の小売や旅行代理店の人事機能で働いていましたが、欧州全体の人事機能を統括する責任者の役割を担ったのは、オリンパスが初めてでした。その後、管掌業務は拡大し、他のコーポレート機能も統括する立場となりました。

2008年には、すべてのコーポレート業務を担う欧州地域

統括会社のコーポレート部門マネジング・ディレクター、その翌年には欧州現地法人のマネジング・ディレクターに就任しました。2011年に欧州地域統括会社の社長となり、2017年には本社の執行役員に就任しました。そして、2019年6月、取締役 執行役 チーフアドミニストレイティブオフィサー(CAO)に選任され、現在に至っています。

欧州でのさまざまな経験とノウハウを活かして

私はCAOとして、HR、IT、SCM(サプライチェーンマネジメント)、「Transform Olympus」等を管掌しています。会社の効率性向上に貢献する取り組みを戦略的にサポートすることで、持続的な成長を実現できる企業を目指します。高成長企業を目指すにあたり、業務プロセスの効率化は重要な要素だと強く確信しています。

私の欧州での経験は、大変貴重なものでした。欧州にはさまざまな国、言語、文化があり、マイクロコスモス(小宇宙)のような地域です。この多様性のなかで長年仕事をしてきたことで、多くの経験を積むことができました。そこで培った経験やノウハウは世界でも十分に通用すると思っており、真のグローバル・メドテックカンパニーの実現に役立てていければと考えています。

変化すべき重要な領域

欧州での「効率化」の取り組みの一環として、2018年夏に、欧州子会社のすべての財務やSCM、販売管理、HRなどの業務を集約したビジネスセンターをポーランドに開設しました。ビジネスセンターの設置においては、業務プロセスと事業プロセスの標準化が重要です。当社も今後は、ロボットやAI、機械学習などのさまざまな最新技術を活用し、業務プロセスの標準化を進め、効率性を向上させていくべきだと考えています。

そして、これはビジネスプロセスの効率化だけにとどまりません。この変革を強力なリーダーシップにより推進し、従業員に本当の意味で権限を与えることにより、従業員、さらには会社全体の潜在能力を引き出し、力を発揮することが可能になるのです。従業員の士気を向上させ、効率的に働くことができる環境を作ることはいずれの企業にとって共通の目標であり、当社にとっても今後の成長において重要な戦略であると強く認識しています。



ポーランドに開設したビジネスセンター

持続的成長を加速させるために、コスト構造を改革する



私は、2020年3月期の販管費の管理についても責任を持って取り組んでいます。2019年3月期の売上高に占める販管費の比率は約55%でしたが、これだけコストの割合が高いと持続的成長をしていくことはできません。グローバル化・デジタル化の対応が求められるなか、コストが高くては、会社にとって必要な投資ができない可能性があります。健全な財務パフォーマンスが、成長のための新しい技術への投資につながるのです。当社が成功するためには、効率的なビジネスプロセスと優れた製品ポートフォリオが不可欠だと思います。

私は当社の潜在的可能性を強く感じています。そして、今後3~5年間のさまざまな取り組みが、真のグローバル・メドテックカンパニーの実現に大きく寄与すると思っています。その可能性を拓き、持続的な発展を図ることが経営陣の務めです。オリンパスは、効率的に開発・生産する素晴らしい製品を顧客に提供することで、次の100年もリードできる企業だと確信しています。